

p.74 練習問題 (10 オータコイド)

(問 3. が抜けておりました。※問 3 以降の番号がずれます)

1. オータコイドとは神経伝達物質のことである。
2. H<sub>1</sub> 受容体拮抗薬は抗アレルギー作用を示す。
3. 第一世代 H<sub>1</sub> 受容体拮抗薬は血液脳関門を通過しない。
4. H<sub>2</sub> 受容体拮抗薬のシメチジンは薬物代謝酵素を阻害する。
5. セロトニンは中枢神経活動（情動活動）にのみ関与する。
6. セロトニンとノルアドレナリンは MAO<sub>B</sub> によって分解される。
7. 5-HT<sub>2A</sub> 受容体拮抗薬は抗精神病薬として使用される。
8. アンジオテンシン I には血管収縮という生理活性はない。
9. ロサルタンは逆作動薬（インバーサゴニスト）である。
10. AT<sub>1</sub> 受容体機能亢進で、高血圧、心肥大などが引き起こされる。
11. ブラジキニンには、発痛・起炎作用がある。
12. ブラジキニン受容体は EP<sub>3</sub> 受容体を介して PGE<sub>2</sub> の作用で活性化される。
13. ブラジキニンは気管支などの平滑筋を弛緩させる。
14. プロスタグランジン類は 5-リポキシゲナーゼで合成される。
15. PGI<sub>2</sub> が体温調節中枢で働き体温を上昇させる。
16. PGE<sub>2</sub> には、発痛亢進作用・起炎作用のほかに胃粘膜保護作用がある。
17. TXA<sub>2</sub> は内皮細胞から産生され血小板凝集を阻害する。
18. PGI<sub>2</sub> は血小板の IP 受容体に作用し血小板凝集を阻害する。
19. アスピリンはシクロオキシゲナーゼを不可逆的に阻害する。
20. LTD<sub>4</sub> は CysLT<sub>1</sub> 受容体を介して強い気管支収縮作用を示す。